

教育目標

「自己を見つめ
他を思いやる心」

肥田中だより

令和6年度
12月号

校長 鈴木 雄詞

「肥田中生の合唱」

11月19日（火）、肥田中学校体育館において、「合唱発表会」が開催されました。学級ごとの発表と、学年での発表がありました。1年生から3年生へと発表が続き、中学校での3年間は、子供たちを急激に成長させる期間であると改めて感じました。

1年生



小学校の合唱との違いや、響き合う声、ハーモニーを感じながら歌うことの楽しさを感じ始めました。伸びしろは無限大です。2年生や3年生を良き手本として成長していくことを願っています。

2年生



昨年度から見違えるほど、グッと合唱の質が上がっていました。女子も男子もそれぞれの特徴を生かし、混声合唱としての聴きごたえが増してきました。この一年間での成長は驚かされました。来年が楽しみになりました。

3年生



さすが、と思わせる表現力でした。歌詞に込められた思いをしっかりと読み取って、歌声に乗せていました。先日の土岐市小中学校音楽会でもそうでしたが、しっとりした中にも迫力があり、聴く者の心にしました。涙がでました。

音楽でも美術でもそうですが、芸能というのは、青少年の情操を育むためにはなくてはならないものです。自分たちの心の内を形にして表現することができるからです。そして、その取り組みから学ぶことも多いのです。今回の発表会で歌う前に生徒たちが語った言葉の中にも、生徒たちが合唱というものに込めた思いが見られました。

1A：「一体感のある合唱にする」

1B：「私たちなりに課題に向き合い、合唱をより良いものに高めようとする」

2A：「私たちは一人じゃない、仲間と一緒にだったらなんだって乗り越えられる」

2B：「自分にとって大切な人を思い浮かべながら歌う」

3A：「やさしさと仲間を信じる力強さを表現しよう」

3B：「仲間を信じて前に進んでいくように歌う」

発表に向かう過程では、学級や学年で何度も話し合い、思いを歌声に乗せようと、限られた時間の中で一生懸命練習している姿がありました。何事にも素直に向き合い、仲間を大切にしながら活動ができる肥田中生を私は愛して止まないのです。

